



2024 年度  
第 42 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

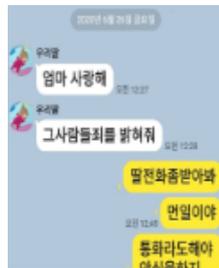
1  
姜シンウク教授  
体育会長選挙に出馬  
リーダーシップ  
強力な変化



2  
今は  
スポーツ大転換時代  
新しい  
枠組みを作ろう



3  
彼らの罪を  
明らかにしてほしい  
スポーツ選手の遺言  
政府予算は6分の1に急減



4  
スポーツは  
脚本のないドラマ？  
選手だけ公正では  
いけない



\*\*\*

5



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけませんか？



\*

01 SBS 2024. 10. 23

**姜<sup>カン</sup>シンウク教授、体育会長選挙に出馬**

…「準備されたリーダーシップ、強力な変化」



檀国大学の姜シンウク名誉教授が今日（23日）、ソウル中区のプレスセンターで記者会見を開き、来年1月に開かれる第42代大韓体育会長選挙への出馬を公式宣言しました。

姜教授は「大韓民国の未来100年の体育歴史を作るために準備されたリーダーシップを備え、強力な変化を通じて世界で一番スポーツしやすい国を作る」と出師の表を投げました。

姜教授は「現在、体育界が混乱と不名誉の中心に立っている。体育人が大切に思う規則を守らない」として「私益を追求する不正行為者はレッドカードを持って断固として退場を命じなければならない」と出馬背景を説明しました。

大韓体育会長に当選すれば、姜教授は真っ先に政府と早期に相互生産的な関係を回復すると明らかにしました。

また、選手の育成、指導者の処遇改善、事業費と運営費の安定的な確保とそのための立法を急ぐと付け加えました。

姜シンウク教授は取材陣と一問一答を通じて、李ギフン現大韓体育会長の3選再任を阻止するために、すでに出馬を宣言した柳スンミン元大韓卓球協会会長など他の候補と一本化を推進する考えがあると明らかにしました。

また、自分が当選した場合、大韓体育会長の任期は8年に制限する計画だと強調しました。

ソウル出身の姜教授はソウル大学体育教育科を卒業し、全農女子中学校のホッケー部の監督を務めました。

1989年から檀国大学国際スポーツ学部教授として後学を養成し、定年退任後は名誉教授に委嘱されました。

合わせて体育市民連帯共同代表(2005～2013年)をはじめ、韓国体育学会長(2016～2017年)と大韓体育会理事(2017年)など多様な体育団体に活動しました。

姜教授は「世界で一番スポーツしやすい国は速い体育界正常化を通じて過去に執着せず誤ったことは正し、疎通し、許す時に初めて成し遂げられる」と強調しました。

選手、指導者、教授、行政家として多彩な履歴を積んだ姜教授は、2021年に行われた第41代体育会長選挙で、現李ギフン会長に次いで2番目に高い得票率(25.7%)を記録し、手強い得票力を見せました。

出典：[https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news\\_id=N1007845068&plink=ORI&cooper=NAVER](https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007845068&plink=ORI&cooper=NAVER)

## 02 毎日経済 社外コラム 2024. 10. 22 サンミョン大学スポーツ ICT 融合合科 ユ・サンゴン教授 今はスポーツ大転換時代・・・新しい枠組みを作ろう



「スポーツは社会の縮小版 (microcosm)」だ。現実と理想、構造と矛盾まで社会の姿がそのままスポーツ世界に投影されるからだ。至大な美しさと崇高さをスポーツで発見する時がある。

反面、濃い濃度の、ねばねばした闇が明らかになる時もある。最近、大韓体育会をはじめ、サッカーや大韓バドミントン協会などで起きている一連の事件がまさにそうだ。これは単にいくつかの組織の恥部が暴露されたのではない。スポーツ界が持っている根本的な問題と限界が露出したのだ。

パリ五輪バドミントンシングルス金メダリストのアン・セヨン選手が決心した発言をした時、私たちは最初戸惑った。具体的な内容を知ることになり、憤怒するようになり、今は若干の期待もあるが、大部分が不安な目で推移を見守っている。アン選手の発言当時は「マネジメント会社の陰謀」だとか「若い選手の利己的欲」だとか背景に対する解釈がまちまちだった。全部間違っている。問題をきちんと解決するためには、原因を明確に診断しなければならず、的を正確に狙わなければならない。根本的な原因は何か。断言するが、今の事態の原因はまだ多くのスポーツ組織に根差している根強い(無)意識と慣行、悪習にある。その起源は軍事政権時代を越え、スポーツが韓半島に紹介された日本による植民地時代まで遡る。会長が内部の声を無視して独断的に行動するならば、側近として組織を運営し個人の権利を組織論理で不当に侵害するならば、その組織の「習俗と行動」は後進そのものだ。

実力より権威が威力を発揮し、過程より結果が優先視され、自律を抑圧が圧倒するスポーツ組織なら未来はない。選手たちは今や強要された結果に満足するより、自ら設定した目標をスポーツマンシップによって達成することで達成感を感じる。問題は、過去の権威的な政権で力を発揮した作動論理であり、もはや有効ではないということ認識しなければならない。

スポーツは今、大転換の時代を迎えた。新たに枠組みを作って再跳躍できるまたとない機会だ。選手と国民は「成果」の時代から「成就」の時代に進もうと要求する。権力と強制から科学とシステムへ、アメとムチから持続可能なスポーツ文化へ行こうという。韓国のスポーツを主導する一握りの集団が過去の慣行と習慣、認識と態度を捨てることができなければ、今はただ除去されなければならない障害物に過ぎない。

2022年から施行されたスポーツ基本法は、スポーツに対する国民の権利はもちろん、スポーツの地位と価値を高めるために制定された。

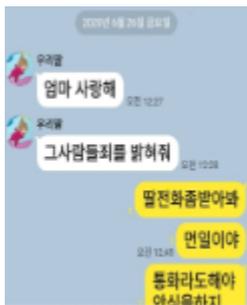
特にスポーツの価値を教育、文化、環境、人権、福祉、政治、経済、余暇など社会全般にわたって広めることが「国家の責任」であることを第5条で明確にしている。政治のスポーツ介入を言っているのではない。多様性と自律性、民主性を持つスポーツの原理が実現できるように、政治の力が道を開かなければならないという主張だ。内部的に解決する力がない時はなおさらだ。

前回のパリ五輪出場選手のうち、ハーバード大学卒業生が陸上金メダルを獲得したというニュースが話題になった。スタンフォード大学卒業生の金メダルが30個を超えるという報道もあった。このようなスポーツシステムを備えた国もあるが、「会長天国、選手墓」の国で暮らすなら、あまりにも惨憺たる気持ちではないか。スポーツ界の新しい枠組みを作ろう。

出典：<https://www.mk.co.kr/news/contributors/11147348>

### 03 韓国日報 2024. 10. 22

## 「彼らの罪を明らかにしてほしい」というスポーツ選手の遺言 … 政府予算は6分の1に急減



「怖くて泣いた。あの人たちがただ怖くて死にそうだ」(故チェ・スクヒョン選手が生前残した日記の内容より)

所属チームの監督とチームドクター、同僚たちから暴行、暴言などに苦しみ、自ら命を絶ったトライアスロン選手の故チェ・スクヒョン(当時22歳)事件をきっかけに作られたスポーツ倫理センターが最近、核心機能である人権監視官事業を大幅に縮小したことが明らかになった。

人権監視官は訓練場、競技場などスポーツ現場に派遣され、苛酷行為など人権侵害が発生しないか点検する役割をする。

母親に「その人々(加害者)の罪を明らかにしてほしい」と最後のカカオトークメッセージを残したチェ選手の意により、また別の被害者を防ぐために作った制度だが、政府が関連予算を6分の1に大幅に減らし機能をまともにできなくなったという指摘が出ている。

22日、国会文化体育観光委員会所属の金ジェウォン祖国革新党議員室がスポーツ倫理センターから提出された資料によると、2023年に3億1,000万ウォンだった人権監視官関連予算は今年5,000万ウォンで82%削減された。政府が組んだ来年度予算案にも5000万ウォンだけが編成された。現在、人権監視官に委嘱された現場専門家は9人だ。

人権監視官の予算が事実上減り始めたのは昨年下半期からだ。スポーツ倫理センターを監督する文化体育観光部が、人権監視官の予算のうち5000万ウォンを切り離して研究開発費に使うようにしたためだ。使うお金が減ったため、人権監視官の事業は大きく萎縮した。例えば人権保護と被害予防のために必要な対面相談を本来の計画より20回少なくし、スポーツ人権侵害・不正調査専門委員らの基本・活動手当なども4ヶ月分も削減された。

スポーツ倫理センター関係者は「政府方針上、公共機関予算が全般的に大きく減ったが、人権監視官予算もその影響を受けた」と話した。昨年、人権監視官の予算を転用して研究開発費に使ったことについては「ソ・イチョ教師死亡事件などで教権侵害が社会的イシューになり、運動指導者の人権保護などのために関連マニュアルを作った」と話した。

金ジェウォン議員は「体育界の人権侵害や不正事件は体育団体の堅固な位階秩序と集団優先主義のために発生し、明らかになりにくい」とし、「人権侵害を予防できる人権監視官事業は縮小ではなく、さらに拡大しなければならない」と話した。

出典：<https://www.hankookilbo.com/News/Read/A2024102204270001941?did=NA>

### 04 マネーS 2024. 10. 28

## スポーツは脚本のないドラマ?…「選手だけ公正ではいけない」



よくスポーツでの名勝負を「脚本のないドラマ」と表現する。型にはまった表現だが、スポーツでの結果はドラマと違って脚本がない。結果が分からないだけに脚本がないのは当然だ。

もちろん、人々がスポーツだけに熱狂するわけではない。ドラマや映画にも当然熱狂する。しかし、スポーツが与える感動は、結果が決まっているドラマとは本質的に違う。

スポーツがより大きな感動を与える理由の一つは、出場選手たちが同じ規定の下で公正な対決を通じて得た結果だからだ。原則的にスポーツは政治的論理や貧富格差、社会的身分など外部要因と関係なく、さらに努力した選手たちが勝利するジャンルだ。これは五輪が追求する価値とも合致する。

スポーツマンシップに反する便法を使った勝利や記録には、賛辞ではなく批判が殺到する。過去、国内のあるプロ野球監督は所属チームの選手たちの記録を作るために多様な便法を使って「非難は短い記録は永遠だ」という名言(?)を残したりもした。だが、当時建てられた記録は数十年が過ぎた現在「恥ずかしい記録」というレッテルが貼られたまま隠したい記憶として残っている。

時代は変わるものだ。今や便法は、厳しい批判を受ける時代だ。公正でない方法で金メダルを取った選手は表彰台で頭を下げるが、最善を尽くした銀メダリストは堂々と笑うことができ、待遇も受ける。このようにスポーツ選手たちにとって最も重要な価値はフェアプレーだ。

しかし、このようなフェアプレーを選手だけに強調してはならない。選手だけでなく、スポーツ界従事者の誰もが守らなければならない徳目でなければならない。

最近、大韓サッカー協会は、代表監督の選任過程で理解できない独断的な決定で、全国民の怒りを買った。サッカーファンが指摘する部分は、単に有名な外国人監督を選任せず、洪ミョンボ監督を選任したからではない。誰かの強要でもなく、協会自らが定めた規定を無視したまま、事実上密室で選任が行われたためだ。納得できる透明な手続きを経て洪監督を選任したなら、反対する主張はあっても、手続き上の問題として指摘されることは避けられた。脚本に組み込まれたような先任だったが、誰も過程を説明できずにいる。

洪監督の過ちもなくはない。受け持っていたKリーグチームを離れないとファンに公言したが、わずか2日で手のひらを返すように自分の決定を覆した。それなりに心を変えた理由を説明したが、詭弁に過ぎなかった。

代表チームの試合は全国民を一つにする力を持っている。時代が変わり、ファンは韓国がW杯本大会でベスト16入りできなくても、選手たちが最善を尽くしたなら、それだけで惜しめない拍手を送る。

しかし、ベスト16もしくはそれ以上の好成績をあげたとしても、協会や監督に向かって心から拍手を送る可能性は高くなさそうだ。協会が脚本のないドラマに脚本を導入し、スポーツ精神を自ら無視したためだ。

出典：<https://www.moneys.co.kr/article/2024102722464538233>

## 05 マネーS 2024.10.28

### 「NO シニアゾーン」スポーツ施設に「人権差別」… 人権委の判断



を示した。

最近、「ノーキッズゾーン」(子ども出入り禁止)に続き、「ノーシニアゾーン」(高齢者出入り禁止)が議論になっている中、あるスポーツ施設が満65歳以上の高齢者の会員加入を断るのは人権差別だという国家人権委員会の判断が出た。ややもすれば高齢者に対する否定的認識を拡散しかねないという憂慮

28日、人権委によると、ソウルにある複合スポーツ施設は1月、満68歳のA氏が会員加入を申請すると、満65歳以上という理由で断った。A氏は人権委に陳情を提起した。

これに対してスポーツ施設側は「プールやジムに安全要員を配置しているが、高齢の会員が滑ったりぶつかって事故が頻繁に発生しており、事故が起きれば直ちに対応が難しく会員加入年齢を制限した」と説明した。

これに対して人権委は「スポーツ施設内の安全事故発生率が必ずしも年齢に比例するとは見られず、満65歳以上を一時的に排除することは不合理だ」と判断した。

人権委関係者は「このような一律的な利用制限は一般市民に高齢者が病気に脆弱だったり体力が弱く、不注意や健康上の問題で他人に被害を与えかねないという否定的認識を拡散させる恐れがある」とし「結果的に商業施設などで老年人口の一律的排除を正当化する恐れがある」と指摘した。そして、該当スポーツ施設側に再発防止対策作りを勧告した。

「ノシニアゾーン」論難は数年間続いている。昨年はSNSであるカフェの出入り口に貼られた「ノシニアゾーン」（60歳以上の高齢者の出入り制限）の文句が話題になった。また、フランチャイズカフェでは売り場に座っていた年配のお客さんに店主が「若い顧客が来ていない」として出て行ってほしいという趣旨のメモを渡した事実が知らされ批判を受けた。

出典：<https://www.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0020666211&code=61121111&cp=nv>

## 06 週間スポーツニュース

堤川、スポーツキャンプ場として人気…「地域経済も活性化」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20241028043900064?input=1195m>

正官庄、健康ウォーキングイベント参加費6000万ウォンをソウル市体育会に寄付

<https://economist.co.kr/article/view/ecn202410280057>

国民体育振興公団、国際スポーツ大会でスポーツ企業を広報

<https://www.newspim.com/news/view/20241028000816>

「安養市障害者複合文化館」開館… 障害者体育活動・生涯教育の新しい地平

<http://www.kyeongin.com/main/view.php?key=20241028025493341>

天安市体育会、「第3回天安李鳳柱マラソン大会」5千人余り参加成功

<https://www.joongdo.co.kr/web/view.php?key=20241028010007324>

怖いかって？ いいえ、とても面白いです クライミングを楽しむ小学生たち

<https://sports.khan.co.kr/article/202410281447003?pt=nv>

第 44 回全国障害者体育大会開幕・・・約 9800 人のスポーツ選手、全国体育大会に熱を上げる

<https://view.asiae.co.kr/article/2024102601215318233>

水原市体育会、日本のさいたま市と韓日サッカークラブ親善試合を実施

<https://www.kgnews.co.kr/news/article.html?no=814855>

北体育祭 75 周年記念・・・全国道対抗体育大会開催

<https://www.news1.kr/photos/6952273>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)

週刊ニュースレターバックナンバー (資料室) <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>